

# 平成24年度 風力発電検討部会の概要

## 検討部会等の開催状況

開催日時	協議内容
平成24年12月25日 13:30～15:30	第1回 協議内容 ・ 部会長の選任 ・ 取組の現況報告 ・ 今後の進め方等について ・ 意見交換
	【勉強会】「自然公園の開発許可について」 説明者：高知県林業振興・環境部 環境共生課 主幹 西村道男
平成25年2月26日 9:30～12:00	第2回 協議内容 ・ 今年度のまとめ ・ 次年度の進め方
	【勉強会】「再生可能エネルギー事業に対する プロジェクトファイナンスについて」 講師：株式会社みずほコーポレート銀行 ストラクチャードファイナンス営業部 プロジェクトファイナンスチーム 次長 白石幸治 氏

1

## H24年度のまとめと課題

- 周辺自治体の担当課との意見交換を実施し、資源の有効活用という面では一定の理解を得たが、環境に対し十分な配慮をという意見もあり、今後慎重に進めていくことが必要である。
- 電力会社へのアクセス検討の申し込み（2,000キロワット風車8基建設計画）の抽選結果として、検討順位が下位となり、20万キロワットの系統受入枠外となった。
- 一方、関係者のヒヤリング等によれば、電力会社へ申し込まれたアクセス検討のプロジェクトにおいて、同様の地点での異なる事業者が計画しているものがあり、検討順位が繰り上がっているという情報もあるので、対応できるよう引き続き検討を深めておく必要がある。
- ただし、既に申し込みを行った風車の機種、規模等が変更となる場合は、アクセス検討の順位が最下位となることから、電力会社の受入枠の問題から、系統接続の実現性が低くなることも考えられる。
- 委託調査として、風車の輸送路について2つのルートでの検討を行い、一部看板等の支障物の撤去が必要な箇所があるものの2,000キロワット規模の風車でも輸送可能であることを確認できた。また、送電線の敷設ルートについては、景観を考慮し一部を地中送電線路とする必要があるという調査結果となった。
- 事業実現に向けては、梶原町を中心とした事業主体をどのような形態とするかなど、事業スキームの早期確立が必要である。

2

## H24年度のまとめと課題（委託調査結果）

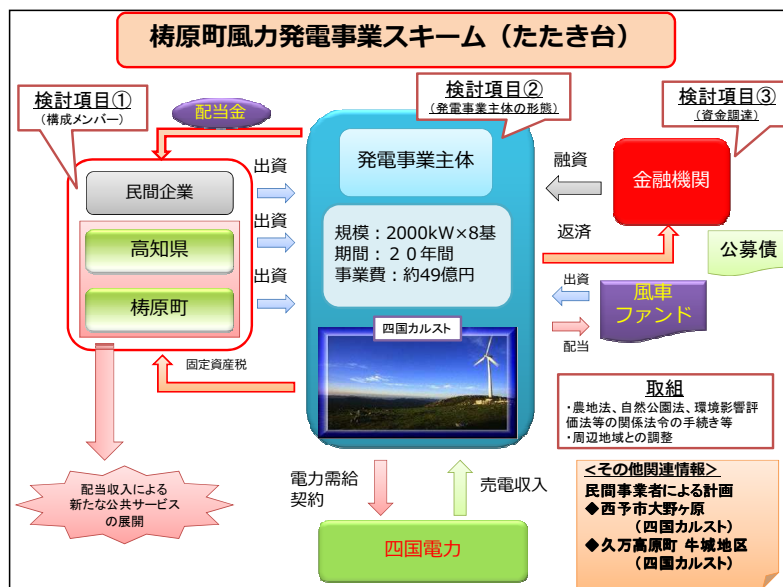
調査項目	調査結果
許認可調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆農業地域であるため、農地法における農地転用が適用される</li> <li>◆農用地区域内であるため、農振法における農振解除が適用される</li> <li>◆県立自然公園の普通地域であるため、届出が必要</li> </ul>
輸送路調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ブレード、トップタワー、ミドルタワー、ナセルは、支障物の移転や特殊車両での輸送により既存の想定ルート（東津野城川大規模林道東線～天狗トンネル経由）からの輸送が可能</li> <li>◆最も径の大きいボトムタワーは天狗トンネルの通行が困難</li> <li>◆別ルート（東津野城川大規模林道西線～県道383号四国カルスト公園縦断線）を利用</li> <li>◆特殊車両（トランスポーター）の使用により輸送可能</li> <li>◆総重量約80ton以上に及ぶため、路肩補強や道路拡幅が必要</li> </ul>
送電線ルート策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆四国電力第5黒川発電所の連系可能容量22MW</li> <li>◆66kV連系送電線のルートを机上検討</li> <li>◆架空送電と地中送電を併用することで、経済性と景観面に考慮</li> <li>◆全て地中送電線の場合、巨長約12km</li> </ul>
事業検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆1:2500の地形図を作成し、風車の配置レイアウトを作成</li> <li>◆風車組立エリアとして1箇所2,200m<sup>2</sup>のフラットエリア造成図を作成</li> <li>◆切盛土量は、約4万m<sup>3</sup></li> <li>◆風車基礎のコンクリートは、1基あたり約600m<sup>3</sup></li> <li>◆22kV構内電線路を地中埋設ケーブルにすることで、景観とメンテナンス面にメリット</li> <li>◆連系変電所は、約230m<sup>2</sup></li> </ul>
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆事業コスト算出、総事業費49億円</li> <li>◆プロジェクトIRRでの評価により、一定の採算性を確認</li> </ul>

3

## 今後の進め方

電力会社へのアクセス検討内容として申し込みを行った2,000キロワット風車8基を建設することを検討のベースとして、以下の項目について今後も検討を深める必要がある。

- ◆事業主体のあり方
- ◆資金調達
- ◆法規制への対応
- ◆周辺地域との調整



4